

(臨時) 大雨に伴う秋まき小麦の雪腐病の再防除の判断について

11月以降、各地でまとまった雨が降っており11月9日から10日にかけての24時間の降水量は各地点で80mmを超えました(詳細は表1のとおり)。

積算降水量で120mmに達した日より前に雪腐病の防除を実施した場合には、薬剤の効果低減が懸念されます(表2)。

ほ場の乾き具合も踏まえて、雪腐病の再防除を検討しましょう。

表1 各アメダス地点での積算降水量

観測地点	11月10日13時から起算して積算降水量で120mmに達した日	11月9日13時から11月10日13時までの24時間降水量
帯広	10月20日	82.5mm
芽室	10月21日	84.0mm
帯広泉	11月2日	83.0mm
上札内	11月2日	81.5mm
更別	11月2日	90.5mm

表2 各薬剤の適用病害と残効の目安(2013年 道立農試)

番号	薬剤と倍率	使用時期	使用回数		適用病害と残効の目安			
					大粒	黒色小粒	褐色小粒	紅色
1	フロンサイドSC (1,000倍)	根	2	適用病害	○	○	○	○
				効果低減・再散布の目安	積算降水量 120mm 日最大降水量 65mm	120mm 65mm	150mm	
2	シルバキュアフロアブル (2,000倍)	雪	1	適用病害	×	○	○	×
				効果低減・再散布の目安	積算降水量 100mm 日最大降水量 40mm	85mm -		
3	トップジンM水和剤 (2,000倍)	前	3	適用病害	○	×	×	×
				効果低減・再散布の目安	積算降水量 80mm 日最大降水量 40mm			

注1: 再散布は表2の降水量を参考にしてください。

2: 表2以外の薬剤を使用する場合は、普及センターまでお問い合わせください。

3: 積算降水量は、散布から根雪までの期間の降水量を指します。

4: 日最大降水量は、散布から根雪までの期間内で、最も降雨の多かった日の降水量を指します。

雪腐病の再防除を行う場合は、以下の点に注意して実施しましょう。

- ・ 薬液が乾かないと降雨や夜露で流れやすいので、なるべく天気の良い日中に処理しましょう。
- ・ シルバキュアフロアブルは根雪前の使用回数が1回です。既に使用した場合は使えません。
- ・ トップジンM水和剤に含まれるチオファネートメチルの使用回数は収穫までの散布で3回以内です。開花期以降にベフトップジンフロアブル等チオファネートメチルを含む薬剤を散布する場合は、使用回数を超えないように注意してください。